

福祉のまちづくり

みなさんの ハート重なり 地域福祉

“お互いさまのまちづくり”

第154号

平成23年10月1日



八坂地区 9/23



美麻地区 9/24



人と人との絆 棚田再生!!

八坂地区では、「農の心 人をつくる会」が山村留学OBの皆さんと稲刈りを行いました。きっかけは、PTAの皆さんから『山村留学終了後もつながりを持ちたい』とのことから今年で5年目になります。『都会だと土に触れたり、作物を育てる機会がない。子どもだけでなく大人も勉強になる』と参加者からの声が聞かれました。

美麻地区では、「わかたの棚田再生（保存）会」が山村留学OBを中心とした皆さんと行いました。荒廃した棚田を再生したい地元民の気持ちと、つながりを持ちたいという山村留学の皆さんとの気持ちとが一つになり今年で3年目になります。棚田再生の交流を通じて、人と人との絆を深めています。

主な内容は

- ・八坂・美麻棚田再生
- ・赤い羽根共同募金
- ・地域福祉活動計画
- ・あなたにインタビュー
- ・市民ふれあい広場
- ・大北ブロックボランティア
地域活動フォーラム参加者募集

ほか

赤い羽根共同募金

募金活動期間

10月1日

~

12月31日

みなさんのご協力をお願いします

この運動は、毎年大勢の皆さんにご協力いただいております。昨年は10,226,011円の募金をいただきました。

今年は募金目標額を10,369,000円としてご協力をお願いすることとなりました。

共同募金って何？

何で『赤い羽根』なの？



世界中で、正義や勇気の象徴として赤い羽根が用いられたことに由来し、アメリカの共同募金で「赤い羽根」が使われたのが始まりです。日本でも昭和22年から共同募金運動が開始され、翌年から『赤い羽根』をシンボルとして使われ始めました。



寄付したお金は、地域に戻るって本当なの？



募金額は、都道府県ごとまとめられ募金の約8割が翌年自分の地域に戻り地域福祉推進のため生かされています。残りの2割も県内福祉施設等へ配分され生かされています。次のページにその一部を紹介していますのでご覧ください。



街頭募金のお知らせ

共同募金運動が始まる10月1日に市内4カ所で街頭募金を行います。お立ち寄りの際は、ご協力をお願いいたします。



実施場所

ザ・ビック 大町店 様
カインズホームベイシア大町店 様
西友 大町店 様
黒部ダム 扇沢駅 様

実施時間

午前11時～午後零時30分



ありがたい善意 共同募金に感謝!



大町市 『希望の旅』



毎年
楽しみな旅

今年は絶景の河口湖方面への旅。与勇輝人形館やオルゴールの森へ。普段外出する機会が少なく、大変なので、この旅は安心して出掛けられる。毎年楽しみにしている。

希望の旅 参加者
幸町 牛越俊光さん

平地区 『施設めぐり事業』



黒部ダムへ

地域や友達、親子の絆を深めることと、子どもたちがさまざまな施設に触れることを目的に開催している。

今年は、100人が参加し黒部ダムへ出掛けた。

平地区子ども会育成連絡
協議会長 海川明文さん

常盤地区 『常盤柔道スポーツ少年団』



技が決まる
うれしい

水曜日、常盤公民館で仲間20人と活動している。目標は大会で優勝すること。大きな大会で勝つこと。

みんなで練習し、技が決まったときはうれしい。

大町南小学校6年
一本木駿也くん

ありがとうございます

社地区 『ふれあいサロン』



貴重な
交流の場に

一人暮らしや昼間お一人になる高齢者の方と年4回、近くの温泉施設を利用し交流会を。サロンボランティアとして参加している。皆さん毎年楽しみで、地区内の貴重な交流の場になっている。

サロンボランティア
コスモスの会 松田富子さん

八坂地区 読み聞かせグループ 『カリヨン』



子どもたちが
待っている

地区内の小学校と保育園で、読み聞かせをしている。結成して4年目。子どもたちが目を輝かせ、楽しみに待っていてくれることが、何よりの励み。「カリヨン」のように子どもたちの心に響くものがあればうれしい。

読み聞かせグループ『カリヨン』
代表 吉原光代さん

美麻地区『あそびり教室』



どこへ行くより、
この教室が

障がいのある方を対象に年10回、料理づくり等を通じて交流している。みんな和気あいあいとして、どこに行くより、この教室に来ることが楽しみ。

あそびり教室
参加者のみなさん

平成24年度からの5カ年計画

地域福祉活動計画をつくります。

「安心して暮らし続けることができる地域づくり」を実現するため、住民や福祉関係者などが、各種の活動や福祉サービスを展開するための共通の指針として、平成18年1月に「地域福祉活動計画」をつくりました。

今年度この計画の期間が満了することから、「第2次地域福祉活動計画」として見直しを行います。

●「地域福祉」とは？

私たちが住む地域には、お年寄りや障がいのある人、結婚や子育てに悩みをもつ人など、何らかの生活課題を抱え、手助けや支援を必要としている人たちがいます。「地域福祉」とは、これらの生活課題に対し、地域を中心として、住民、福祉関係者などが協力して取り組む活動やその仕組みのことです。

● 計画書の内容

「計画の目的・期間・性格」…計画の全体像を示します。

「現状分析」…現在の計画の評価や住民アンケートの結果から、地域の現状を明らかにします。

「基本目標」…現状分析をもとに、将来あるべき姿（ビジョン）を示し、それに向けた基本的な目標を掲げます。

「基本計画」…基本目標に沿った取り組みの柱を掲げます。

「実施計画」…具体的な取り組み事項とその担い手を示します。



現在の計画書



地域のふれあい活動
大黒町ふれあいいきいきサロン等



高齢者福祉活動
デイサービスこすもす等



障がい者福祉活動
障がい者「希望の旅」等



子育て支援活動
保育サポーター養成講座等

計画づくりの取り組み

◆ 計画策定委員会（10・11・1・2月）

計画案の審議を行うため、一般公募委員の方も含めた、さまざまな立場の皆様で構成する策定委員会を設置します。



◆ 住民アンケート（9月 1,000件）

大町市と合同で、16歳以上の方を対象とした住民アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

◆ 地区懇談会（12月 6地区）

市内の6地区の会場で、計画案の説明と意見交換を行います。

◆ パブリックコメント（2月）

計画の最終案は、広報やインターネットなどで公開し、広く意見を募集します。

あなたにインタビュー!!

お互いさまのまちづくり



笑顔届けたい

神楽町 因幡麗子さん

3月11日の震災が発生してから、緊急持出袋を準備したりタンスの固定を検討している。

仮設住宅に住んでいる方たちに気分転換“笑い”が必要という報道をみて、ボランティアで腹話術をしていることもあり、機会があれば是非笑顔を届けに行きたい。



あらためて感じた 隣近所の大切さ

野口 西山善久さん

震災後、隣近所の支え合いの大切さを感じた。交流と隣近所互いのことを知る機会として、私の住む野口花見地区の住民約50人で、上越方面へ日帰り旅行をした。

私自身、地元で長く住んでいるので、隣近所に知らないことはないと思っていたが、子どもやお嫁に来た人など知らないことがたくさんあり、あらためて隣近所の大切さを感じた。

震災から半年 みんなの思いは…



ボランティア同好会に所属

青具 小林昂平さん

3月11日災害が起きてから、水や食料などを備えなければいけないと思ったが、どうすればいいか…。

避難所は学校だと思うけど、自宅からは遠く考えると不安なことだらけ。

私は、高校で“ボランティア同好会”に所属しています。同好会では、学園祭に合わせて、震災の紙芝居を作成し発表しました。見てくれた方からは、“感動した”と感想をもらいうれしかった。何をしたいかわからないけど、考えることが大事だと思います。



災害を 忘れないことも 支援のひとつ

松崎 山口尚美さん

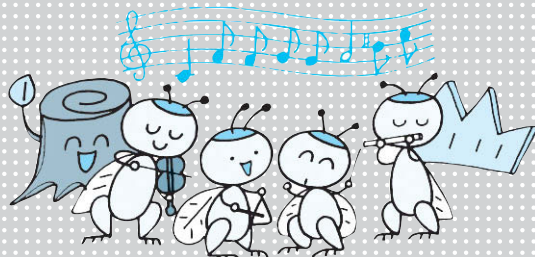
震災を機に何か変わったというよりは、子どもが産まれ母親になってから、災害が起きたらこの子をどう守ろうとか、おむつなど子どもに必要なものは備蓄しておこうなど考えるようになった。

震災から半年が経ち今何ができるかわからないですが、忘れないことも支援の一つだと思っています。

ふれあいの窓 H23. 7. 16~9. 1(敬称略)

善意の寄附をありがとうございます

【現金】 匿名 4,075円
大町高等学校縁日販売係 10,000円



2011

市民ふれあい広場へ行こう!!

東日本大震災復興支援イベント

大町市文化会館前広場で開催!!

とき:10月8日(土) 午前9時~午後2時30分

ふれあいステージ

- ★障害福祉サービス事業所 ふれあいコンサート
- ★大町北高校吹奏楽部演奏会
- ★フィリピンダンスグループ『サンパギータ』

市民ふれあい広場



- ★大町おどり
 - ★黒部睦 神輿披露
 - ★信濃恋歌
- ステージ発表

『サンパギータ』発表



わんぱく広場

- ★バルーン遊具やおもちゃ作り、親子で楽しく過ごしましょう!



食べ物コーナー

- ★おもち ★フランクフルト ★わたあめ
- ★大判焼き ★焙煎珈琲 ★非常食試食
- ★あからおやつ などなど

被災地支援!!

- ★岩手県 山田町 名産品販売会
松茸のお吸い物や山田の醤油、いかせんべい等の販売
- ★災害支援パネル展
市社協が行ってきた被災地支援のパネル展示を行います。
- ★義援金募集!!
義援金箱を設置します。ご協力をお願いします。

健康推進!!

- ★大町病院に
よる三二健診
- ★保健師による
健康相談
- ★献血コーナー
など

大町病院三二健診



社会福祉功労者表彰

市民ふれあい広場開会セレモニー内で、多年地域福祉にご尽力いただいた皆さんと、市社協へ多額のご寄付をいただいた皆さんに対し表彰いたします。
被表彰者は次の皆さんです。(敬称略)

表彰 (福祉功労者)

▷保護司 山上静枝 ▷社会福祉団体役員 川上幸久・松下岩恵・齋藤昭二・倉科英利・栗林長世 ▷優良社会福祉活動団体 下一百寿会 ▷優良社会福祉活動個人 伊藤 幸子 ▷優良活動地区 大町花づな会・高根町たかね会・北原町おひさまの会・山下あやめ会

感謝状 (金品寄付)

伊藤悦男・大系タイムス友の会・大町黒部・大町市老人クラブ連合会・長野県労働金庫大町支店



事前予約にご協力ください。 ☎22-1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 10月・11月

	開催日	時間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先	
10月	10月3日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501	
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	10月17日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
		13:00~16:00	行政相談	行政相談員			
	10月24日(月)	15:00~17:00	法律相談	弁護士			
	10月25日(火)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	八坂支所	八坂地域福祉センター ☎26-2100	
	10月11日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544	
	10月25日(火)						
	10月5日(水)	13:00~15:00	生活相談 行政相談	民生委員・ 行政相談員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000	
	10月18日(火)	13:00~15:00	心配ごと相談	司法書士 人権擁護委員 民生児童委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000	
11月	11月7日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501	
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	11月14日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	11月21日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
		11月28日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		11月25日(金)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	美麻総合福祉センター	美麻地域福祉センター ☎29-2341
		11月8日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544
		11月22日(火)					
	11月2日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権擁護	民生委員・ 人権擁護委員	ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000	

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日祝日を除き毎日受け付けています。 ☎22-1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

障害福祉サービス事業所 すずらん自主製品コーナー

すずらんでは、さまざまな染物製品を販売しています。今回は手ぬぐいを紹介します。

つけられた模様は、染抜剤で利用者が一つ一つ手書きをしたものです。

『藍染、
草木染手ぬぐい』
420円～

お買い求めは
すずらんまで
TEL22-4956



義援金に ご協力ください!



東日本大震災義援金

平成24年3月末日まで期間延長

受付場所：大町市総合福祉センター

大町市役所／八坂・美麻支所

台風12号災害義援金 (奈良県、和歌山県、三重県)

平成23年10月31日(月)まで

受付場所：大町市総合福祉センター

平成23年7月新潟・福島県豪雨災害義援金

平成23年10月31日(月)まで

受付場所：大町市総合福祉センター

参加者募集!!

大北ブロックボランティア 地域活動フォーラム



- 日時 平成23年11月26日(土) 12:00~16:00
- 場所 池田町総合福祉センター “やすらぎの郷”
- テーマ 「ボランティアについて
改めて原点に戻って考える」
講師 福島 明美氏(松本大学講師)
☆講演終了後分科会を開催します。
- 申込 11月10日(木)までに
大町市社会福祉協議会へ TEL22-1501

参加者募集!!

“あなたの子育て経験を
生かしてみませんか!”

「保育サポーター養成講座」



全5回の講座

- 日程
①10/20(木) ②11/9(水) ③11/24(木) 10:00~12:00
④12/17(土) 13:30~15:30
※第5回は、託児実践を予定。現在日程を調整中。
内容は、子どもの遊びや栄養、読み聞かせや幼児安全法講習を予定しています。
- 費用 実費として保育園昼食代250円
教材費 200円程度
- 申込 10月13日(木)までに
女性未来館ピュアへ TEL22-0694

愛称決定!!

福祉輸送サービス車 『おひさま号』



先ごろ募集しました福祉輸送サービス車両の愛称について、13人の方から10点の応募がありました。厳選なる審査の結果「おひさま号」に決定しました。

入選作品を応募された方は、市民ふれあい広場内で表彰します。

応募していただいた皆さん、ありがとうございました。



総合福祉センター “ハートピア仁科の里” 公衆浴場 親子ふれあいキャンペーン

- 期間 12月28日まで
- 内容 子ども料金200円のところ
ご家族利用時“無料”
- ポイントを貯めて景品ゲット!!
公衆浴場利用ごとにポイントが貯まります。
無料入浴券ほか景品と交換できます。



広がれ! 広がる! ネットワークの輪

若原町 わかば会 市川光弘

～隣近所支え合っていこう～



わかば会は、今年の4月28日に設立した1年目のネットワークです。市開発公社の分譲地としてできた若原町は、皆さん若く元気な町でしたが、近年高齢化が目立ち、48戸の世帯で65歳以上が33人。それでも元気な家庭が多く幸いです。昔から言われているように、『遠くの親戚より近くの他人』のように困りごと、心配ごと等を皆で話し合っていこうとわかば会を設立しました。

7月31日に住民交流として、『白馬五竜高山植物園』にマイクロバス2台で行ってきました。楽しい一日を過ごし、帰ってからは自治会と協賛で納涼祭をし、懇親を深めることができました。

「福祉のまちづくり」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行; 社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail somu@omachishakyo.or.jp